



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

子供たちの素敵な姿

2年生が種芋を植える学習をしていました。用務員の鈴木さんが講師となり、一つ一つの作業のやり方を実際に見せながら、丁寧に説明してくれました。子供たちは、一人一人役割分担を決め、自分のやるべきことに取り組んでいました。片手鋤を使って、土を掘る仕事、肥料を入れる仕事、種芋を土の中に入れていく仕事、土をかけていく仕事等、自分の番が来ると表情は真剣そのもの。

次の日、登校指導を終え、学校に戻ると、「お芋さんの様子を見に行かなくちゃ。」と言って、雨の中、傘をさして畑の方に行く女の子がいました。そっと様子を見に行くと、手を真っ黒にしながら、一生懸命に雑草を取っている姿が目に入りました。「何してるの?」と声をかけると、「雑草を取ってるの。」と言うので、「なんで雑草取るの。」と聞き返すと、「だって、お芋さんに栄養がいなくなっちゃうから。」「雑草を取ることは用務員さんとも約束したんだ。」という答えが返ってきました。用務員の話を中心に留めて、昨日植えたお芋を大切に育てていこうという思いにあふれている姿が素敵でした。その後、もう一人男の子が来ました。雑草を取っている友達を見て、「手伝うよ。」と言って、2人で何度も何度も雑草を取っていました。

一つの活動が、子供たちの思いを豊かにし、友達との関わりを生み出し、さらに豊かになっていく姿を見て、日々の教育活動の大切さを改めて感じました。この2人の心の中に、今日の活動が素敵な思い出として残っていったほしいと思っています。

日常の中には、子供たちが輝く素敵な瞬間がいたるところにあります。その瞬間に出会える幸せをかみしめつつ、保護者の皆様や教職員、そして子供たちと分かち合っていきたいと考えています。一人の輝きをみんなのものにしていくことを日々大切にしていきたいと思います。

不審者対応避難訓練

金曜日に不審者対応避難訓練を行いました。授業中、学校に不審者が入ってきた時に、避難する訓練です。どの学年もしっかりと避難することができました。ドアに鍵をかけるとともに、不審者に気づかれないように、全員静かに机の下に隠れ、人の気配を消すことを大切なポイントとして行いました。少し長い時間でしたが、学校中が静まり返っていました。

私からは、今まで学校に不審者が入って大きな事件になったことはないけれど、今後絶対にないとは言いきれないという話をしました。大阪教育大学附属池田小学校の話をし、一人も悲しい思いをすることがないように、今日の動きを忘れないでほしいと伝えました。また、不審者に出くわすのは、登下校中や放課後の場合もあること、その時の合言葉『いかのおすし』の「いかない」「のらない」「おおごえを出す」「すぐにげる」「しらせる」について、振り返りもしました。
.....

保護者や地域の皆様には、登下校中等、温かな見守り活動を行ってくださっていること感謝申し上げます。御理解と御協力で改めて御礼申し上げます。